



外国出張報告書

平成 26 年 12 月 2 日

1. 出張国名 ガーナ
2. 出張月 平成 26 年 10 月～11 月
3. 出張目的 稲作技術のマニュアルについて、普及状況を調査するとともに
今後の普及・展開方法についての意見収集：B
4. 成果の概要
 - (1) 稲作技術のマニュアル
("The manual on improving rice production in Africa"; 2012, JIRCAS)
(以降「稲作マニュアル」と記述) の利活用状況や今後の普及・展開方法について、
食糧農業省 (MOFA) Crop Services 局次長と意見交換するとともに、
これまでの JIRCAS の活動及び今後の協力関係についての意見交換を行った。
 - (2) JIRCAS が平成 20 年度から 23 年度までの 4 年間クマシ市近郊で実施した
かんがい稲作普及にかかる調査 (稲作推進条件整備調査) の実証地区において、
今後の稲作普及についての行政担当者及び農家の意見を収集した。
 - (3) クマシにおける低コストかんがい技術の実験ほ場の状況を見学した。
カバープランツの実験内容について、担当研究者より実験内容の説明を受け、
進捗状況を確認した。
 - (4) 稲作マニュアルの利活用状況や今後の普及・展開方法について、
ガーナ国食糧農業省 (MoFA) のブロングアファホ州、セントラル州及び
イースタン州の各事務所の担当者 (Crop Officer) 及び普及員 (Extension officer) 等
に対し、聞き取り調査を実施。
ブロングアファホ州については、稲作マニュアルの内容を理解、評価するとともに、
関係部署に配布し普及に努めている状況が確認できた。
また、それ以外の 2 つの州においては、州事務所においてこの稲作マニュアルを受け
取っていないとの話であった。
これについては、今後、MoFA 本部、配布担当のアシャンティ州事務所に確認する。